

令和5年度社会福祉推進事業 『在留資格「介護」の実態把握等に関する調査研究事業』

事業実施主体：公益社団法人 日本介護福祉士会

- 令和4年度社会福祉推進事業「在留資格「介護」の実態把握及び活躍支援に向けた調査研究事業」では、在留資格「介護」の外国人介護職員と施設・事業所を対象にアンケート調査、ヒアリング調査を行い、その結果を踏まえて**外国人介護職員向けの活躍事例集**を作成した。
- 令和5年度事業では、令和4年度事業で整理した3つの課題「ライフステージに応じた支援」「キャリアパス構築の支援」「資格取得の支援」について、課題別に、より詳細なヒアリング調査を行い、その結果を踏まえて**施設・事業所向けに「外国人介護職員活躍のためのガイドブック」**を作成した。

専門性を活かして在留資格「介護」で働く
外国人介護職員 **活躍事例集**
全国で活躍する10名の介護福祉士を紹介します！

令和5年(2023年)3月
公益社団法人 日本介護福祉士会

- 【活躍事例集(概要)】
- ・全国で活躍する**10名の外国人介護福祉士**の来日前から資格取得後の活躍の様子や将来の目標等を写真やコメント付きで紹介している。
 - ・リーダーや主任として活躍している事例もあり、今後、介護福祉士を目指す外国人介護職員の**ロールモデル**として参考になる。
 - ・施設・事業所の指導担当者からは、外国人介護職員に期待や具体的な支援方法についてコメントを掲載している。

【求められる支援】
長期に就労し、日本で活躍し続けるためには、「**ライフステージに応じた支援**」「**キャリアパス構築の支援**」「**資格取得の支援**」が非常に重要である。

令和5年度 厚生労働省 社会福祉推進事業「在留資格「介護」の実態把握等に関する調査研究事業」

専門性を活かして在留資格「介護」で働く
外国人介護職員
活躍のためのガイドブック

長期就労のための支援
とライフステージに
応じた支援

キャリアパス
構築の支援

資格取得の支援

令和6年(2024年)3月
公益社団法人 日本介護福祉士会

- 【ガイドブックの趣旨】
- ・在留資格「介護」の外国人介護職員が、日本の介護現場において、更なる活躍ができるよう、**起こり得る事柄や必要な支援**などを紹介している。
 - ・定着には**施設・事業所の理解と支援**が必要である。
- 【ガイドブック主要項目】
- 1) ガイドブックの趣旨
 - 2) 長期就労のための支援とライフステージに応じた支援
 - 3) キャリアパス構築の支援
 - 4) 資格取得の支援
 - 5) 外国人介護職員から見た介護福祉士の専門性

専門性を活かして在留資格「介護」で働く 外国人介護職員 活躍のためのガイドブック

- 在留資格「介護」の外国人介護職員と施設・事業所の担当責任者を対象にヒアリング調査を行い、その結果を踏まえて**施設・事業所向けのガイドブック**を作成した。
- 事業報告書およびガイドブックは、（公社）日本介護福祉士会のHPにて公開。
(<https://www.jaccw.or.jp/projects/chousakenkyu>)



【ガイドブック（抜粋）】

■長期就労のための支援とライフステージに応じた支援

- ・ **結婚、家族滞在、出産、育児等**さまざまなライフステージの変化とそれに対応する支援が必要。
- ・ 地域や職場で長く生活・就労するためには、**生活のしやすさや母国に帰りやすい環境**を整えること等が必要。

■キャリアパス構築の支援

- ・ キャリアパスは日本人介護職員にもわかりづらいもの。
イメージしてもらうための工夫は必要。
- ・ **日本語能力**は、キャリアアップに大きく影響する。

■資格取得の支援

- ・ 養成施設ルートの場合、経過措置終了後は国家試験に合格しなければ介護福祉士になれない。特に再受験は、ハードルが高く受験に向けて、**モチベーションを高めていく**ことが必要となる。
- ・ **資格取得支援を求める外国人介護職員の声は多い**。分からない問題の解説や一緒に勉強するなどの工夫があるとモチベーションが保ちやすくなる。

- 本事業では、技能実習を終えた外国人介護人材の進路や国内外での活躍状況、監理団体や送り出し機関、その他日本企業等による技能実習修了者の活躍を支援する取組の実施状況把握を目的として、アンケート調査やヒアリング調査を実施。
- 本調査結果や過年度の調査結果等を踏まえ、介護職種の技能実習生に実習修了後も国内外で活躍し続けてもらうため、日本企業等によるキャリア形成支援事例を多数紹介した、「外国人介護人材のキャリア形成支援のためのガイドブック」を作成。ガイドブックの概要は以下の通り。

技能実習を通じたキャリア形成を支援する取組の方向性

・外国人介護人材が技能実習の経験を糧にキャリアアップし、活躍できるような支援体制整備に向け必要な取組の方向性として、以下4つの視点を洗い出した。また、各視点に合致する取組事例を紹介し、各事例から読み取れるポイントを解説。

i. 入国前の教育～技能実習～実習修了後の就労まで、重層的な支援体制の構築

- (ポイント)✓ 技能実習生へキャリアの道筋を示すため、行政・企業・監理団体・送り出し機関が連携し、入国前の教育から技能実習、実習修了後の就労支援まで、重層的な支援を届ける。
- ✓ 送り出し機関・受入れ企業・監理団体が連携し入国前面談等を実施したり、実習修了後を見据えたキャリアプラン等を提示する。

ii. 入国前～技能実習中の継続的な日本語学習支援

- (ポイント)✓ 実習中における日本語学習支援として、個々の進路希望・能力に応じた日本語能力の到達目標の明確化、技能実習生それぞれの学習状況の可視化、日本語学習に関する情報収集、学習教材の検討・選択、独自コンテンツの開発等を行う。

iii. 技能実習生の介護福祉士資格取得支援

- (ポイント)✓ 介護福祉士資格取得支援として、先輩外国人介護人材がロールモデルとなり、資格取得に向けたアドバイス等キャリア形成に向けたサポートを行う。

iv. 実習修了後の多様な活躍を見据えた情報収集と支援

- (ポイント)✓ 実習修了後の多様な進路実現に向け、送り出し国や自治体、その他介護事業者等でのキャリア支援に関する情報を収集し、外国人材への共有を行う。
- ✓ 本人のキャリア希望に関して面談等を通じて聞きとり、受入れ企業としての支援の在り方を検討する。

外国人介護人材のキャリア形成支援のための基盤整備

・以下二つの観点で、外国人介護人材のキャリア形成に向けて支援を行っていくにあたっての重要な基盤となる、母国での人材活躍および日本への人材獲得に向けた取組を行う企業等の事例を紹介。

i. アジア諸国の介護サービス市場に進出する日本企業等の動向

ii. 介護の技能実習を志す人材を維持するためのアプローチ

